

目次

[今週号は 2022 年 4 月 22 日時点の情報を基に作成しています]

マクロ経済コラム：ソフトウェア投資の動向	1
日本株銘柄情報：ウイングアーク 1st (4432)	2
日本株銘柄情報：鎌倉新書 (6184)	3

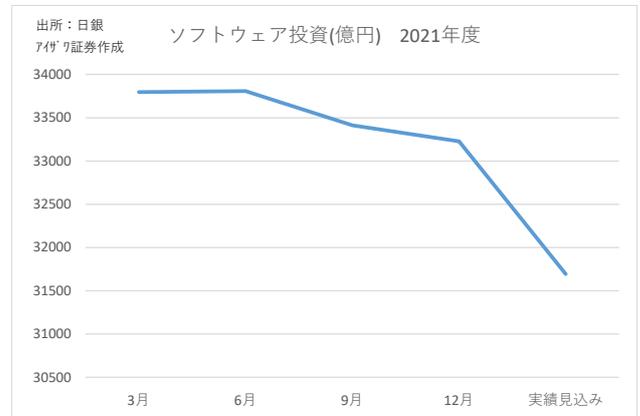
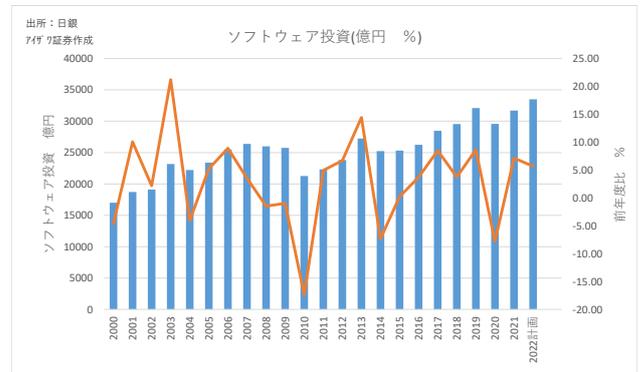
ソフトウェア投資の動向

笹木 義次

2021 年度のソフトウェア投資(大企業全産業実績見込み以下略)は、3 兆 1694 億円と前年度比で 7.1%増加となりました。コロナ禍の影響を受けた 2020 年度のソフトウェア投資は前年度比 7.8%のマイナスでしたから、2021 年度のソフトウェア投資は改善した事になります。ソフトウェア投資に関連している情報サービス業の 2022 年 3 月の業況判断も 38%ポイントとなり、「良い」超過となっています。ソフトウェア投資の回復を反映するような動きとなっています。

2022 年度期首のソフトウェア投資の計画は、3 兆 3497 億円と前年度比で 5.7%増と今年度も増加する計画となっています。

筆者は、ソフトウェア投資の今後の動向として、増加率は低下すると考えています。2021 年度のソフトウェア投資をよく見ると、期初に比べて、期を追うごとに下方に修正されています。3 月調査では、3 兆 3795 億円でしたが、実績見込みの段階では 3 兆 1694 億円まで低下しました。今年度も前年度と同様な動きになると見ているからです。



ウイングアーク 1st (4432)

笹木 義次

株価指標

株価 (2022/4/22)	1,255.0 円
売買単位	100株
市場	東証プライム
時価総額	432 億円

前期は増収増益に

ウイングアーク 1st は、帳票・文書管理ソリューションと企業内のデータを活用する BI(ビジネスインテリジェンス)ツールの提供と大きく分けて 2 つのサービスを顧客企業に提供しています。

ウイングアーク 1st の 2022 年 2 月期の業績は、売上収益が 198 億 33 百万円と前年比で 8.5%の増収に、調整後 EBITDA は 73 億 14 百万円と前年比で 11.1%の増益となりました。ウイングアーク 1st では、調整後 EBITDA を業績指標として重視しています。EBITDA はキャッシュベースの営業利益の事です。さらに一過性の費用等が調整され、継続性のある事業ベースの利益です。

形態別の売上収益では、ライセンス/サービスとリカーリングが増収となり、全体の売上収益の増収に寄与しました。ライセンス/サービスでは、大企業向けに導入支援が増加しました。リカーリングでは、クラウドサービスが牽引して、増収となりました。

成長戦略を実行

ウイングアーク 1st では、ソフトウェアをライセンスとして売切るものから、クラウドサービスでの提供へと積極的に転換を進めています。企業間の文書流通のデジタル化や、データを活用した企業戦略の策定など、増加が見

<業績の推移>

決算期	売上	営業利益	税引前利益	純利益	1株利益	1株配当
2021/2	18,285	3,207	3,153	2,452	79.5	24.0
2022/2	19,833	5,986	5,910	4,353	132.3	42.6
2023/2計	21,000	4,750	NA	3,450	NA	42.6

単位:百万円 (1株利益、1株配当は円) 計画は会社計画によります。

<投資指標>

指標	値
今期予想PER	NA 倍
PBR	1.39 倍
予想配当利回り	3.39 %

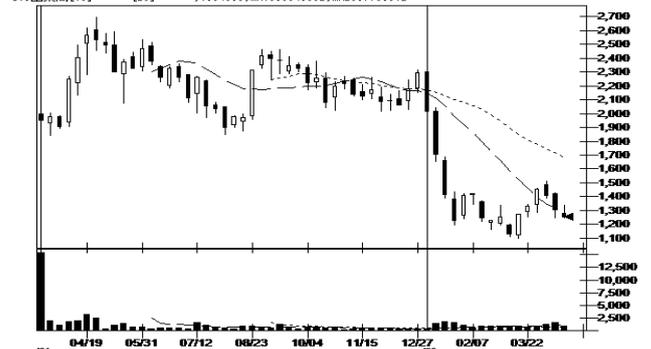
込まれる需要を取込むためです。具体的なサービスとして、企業間文章流通では invoiceAgent を、企業内データ活用では Dataring の拡販に注力しています。

業績計画

ウイングアーク 1st では、2023 年 2 月期の業績は、売上収益が 210 億円と前年比で 5.9%の増収を、調整後 EBITDA は 60 億円と前年比で 18.0%の減益を計画しています。売上収益はリカーリングの伸長で増収を見込んでいます。成長投資を 18 億円計画していることから、調整後 EBITDA は減益計画です。

筆者はウイングアーク 1st の 2023 年 2 月期の業績は、売上収益が 215 億円と前年比で 8.4%の増収を、調整 EBITDA は 62 億円と前年比で 15.2%の減益を予測しています。成長投資計画 18 億円をすべて支出するかどうかは不確実と見ています。今期は、成長投資により減益計画となっていますが、成長戦略は、成果が見込めると推測しています。割安な投資対象として評価しています。

54432 銘柄 ウイングアーク 東証 選定 21/3/16~22/4/18
日付:22/04/22 高:1260 安:1260 現値:1255.23 出来高:146.8
MC:07/22:単純移動平均[18]-----[26]-----[26]-----MA13:1303.08,MA26:1679.19
SI:出来高[13]-----[26]-----V:940.9,MA13:994.862,MA26:776.612



(C) QUICK Corp. All rights reserved.

出所: AstraManager よりアイザワ証券作成

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、よろしくお願いいたします。

鎌倉新書 (6184)

笹木 義次

株価指標

株価 (2022/4/22)	591.0 円
売買単位	100株
市場	東証プライム
時価総額	230 億円

マッチングプラットフォーム事業と KPI

鎌倉新書はお墓、葬儀、仏壇、相続などのマッチングプラットフォーム事業を運営しています。収益モデルは、売上高＝顧客数×サービス単価×クロスユース率です。顧客数は、顧客数＝紹介数×成約率に分解されます。KPI(重要業績指標)である紹介数、顧客数、成約率が順調に推移しています。2022年1月期までの5年間平均成長率は、紹介数は21.1%、顧客数は26.2%です。顧客数の成長率が紹介数の成長率を上回っているのは成約率が高まっているからです。クロスユース率を高める事で、1人当たりのサービス単価を高める事が可能です。

事業特性に適った事業活動

KPI(重要業績指標)が順調に推移しているのは、鎌倉新書がマッチングプラットフォーム事業の事業特性に適合した事業活動を行っているからと筆者は推測しています。プラットフォーム事業には、ネットワークの外部性と情報の非対称性という事業特性があります。ネットワークの外部性とは、利用者が増加すればプラットフォームの価値が高まるという事です。プラットフォームの利用者間には情報の非対称が存在しますので、適切な情報提供や支援を行う事で、情報の非対称性を低下させ、使いやすいプラットフォームになります。鎌倉新書では、サービスの需要者であるユーザーに対して情報提供を行っています。サービスの供給者である事業者に対してマーケティング支援を行っています。サービス提供

<業績の推移>

決算期	売上	営業利益	経常利益	純利益	1株利益	1株配当
2021/1	3,238	265	267	180	4.7	1.0
2022/1	3,826	532	538	361	9.3	2.0
2023/1計	5,000	640	645	430	11.1	NA

単位:百万円 (1株利益、1株配当は円) 計画は会社計画によります。

<投資指標>

連結	
今期予想PER	53.3 倍
PBR	6.20 倍
予想配当利回り	0.33 %

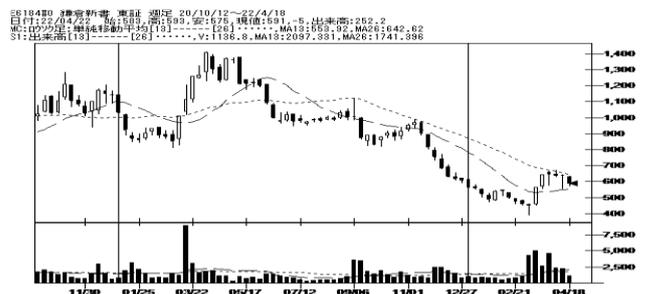
者とサービス利用者の成約率を高めています。

事業領域の拡大

鎌倉新書では、終活インフラの構築を目指して、事業領域の拡大に取り組んでいます。現在の主力サービスのお墓、葬儀、仏壇は死後の供養に関連するものです。そのため生前の終活に関連する介護、保険、不動産などのサービスを立ち上げて、収益化に取り組んでいます。生前の終活に関連するサービスは、サービスの立ち上げ期に当たる事から、先行投資負担で赤字です。

収益化工程表

鎌倉新書では2023年1月期から2026年1月期までの中期計画を開示し、投資局面にある新規サービスの収益化の工程表を示しました。2025年1月期までに、全てのサービスが収益化する事が示されています。また、新規サービスの投資負担を吸収して、営業利益が増益になる計画になっています。新規サービスの収益化には不確実性が伴い、収益化の工程表に関しては幅をもってみる事が必要と考えています。しかし、こうした工程表が示された事で、将来の利益成長のイメージを持つことが出来るなど評価できると考えています。



本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、よろしくお願いいたします。

金融商品取引法に基づく表示事項

■本資料をお客様にご提供する金融商品取引業者名等

商号等：アイザワ証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 3283 号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

当社が契約する特定第一種金融商品取引業務に係る指定紛争解決機関：

特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター（略称：FINMAC）

株式の主なリスク

株式は株価の変動等により、損失が生じるおそれがあります。お取引の際は、契約締結前交付書面をよくお読み下さい。

お客様にご負担いただく手数料等について

国内株式は、取引口座に応じて以下の委託手数料（税込）をいただきます。

対面口座：約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

インターネット口座「ブルートレード」：インターネット発注 最大 1,650 円

コールセンター発注 約定代金が 55 万円以下の場合 1,650 円、

約定代金が 55 万円超 3,000 万円以下の場合 3,300 円

コンサルネット発注 約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

免責事項

本資料は証券投資の参考となる情報の提供を目的としたものです。投資に関する最終決定は、お客様ご自身による判断でお決めください。本資料は企業取材等に基づき作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありません。結論は作成時点での執筆者による予測・判断の集約であり、その後の状況変化に応じて予告なく変更することがあります。執筆担当者または弊社と本レポートの対象企業との間には、重大な利益相反の関係はありません。このレポートの権利は弊社に帰属しており、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

LINE公式アカウント
はじめました！

ベトナムを中心としたアジア情報
をお届けします。

[友だち追加はこちらから！](#)



ID : @aizawa